

普及活動情勢報告（平成29年1月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

省力化を目指したアシストスーツの検討

～文旦の収穫作業での実用性～



アシストスーツの着用の様子

管内には、文旦や生姜が古くから栽培されています。これらの品目は比較的重量物で、今後の高齢化への対応が急がれています。そこで、アシストスーツの利用により、農作業負担を少しでも軽減できないものか検討しました。

農業改良普及課は、12月28日、スーツの試験利用をお願いした文旦農家を訪れ、利用に関する感想等を聞き取りました。残念ながら、今回の機種は傾斜地での利用は難しく、特定の作業向きである事が分かりました。

農業改良普及課では、今後他の機種の紹介も含め、引き続き新たな省力化技術の検討を進めていく予定です。

J Aとさし新居青壮年部勉強会

～地区の担い手確保に向けて～



勉強会の風景

農業改良普及課は、J Aとさし新居青壮年部を対象に、1月19日にJ A新居支所で勉強会を開催しました。

新居地区では若手の生産者が増えてきたことから、新規就農者等への制度や事業を勉強し、活用していこうと今回の勉強会開催になりました。勉強会では、就農者を事例に検討を行い、今後、栽培管理も含めて、先輩農業者が、後輩を指導していく事に決まりました。

次回は、基本的な野菜の育苗について勉強会を行う予定です。

キュウリ環境制御ハウスでの生育調査

～環境制御技術の確立を目指して～



生育調査の様子

J Aとさしキュウリ部会では、環境制御機器を導入した生産者が多くなり、環境制御下でのキュウリ栽培技術の確立が急務となっています。

そこで、農業改良普及課はJ Aとさし営農指導員と連携し、環境制御技術導入ハウスで品種ごとの生育調査を実施しています。開花位置、茎周などを週1回測定、数値化することで、生育バランスの変化を農家に示し、適正な温度管理などを検討しています。

また、結果をグラフ化し、現地検討会で紹介することで、技術への関心を高めるのに役立っています。

農業改良普及課は、この調査を続け、データを蓄積・検討することで、J Aとさしとともに技術の検討を進めていきます。

そばと地域を売りだそう！
～ 6次産業化支援チーム会（柳野）～



アドバイザーの助言を受ける

農業改良普及課は、アドバイザーと連携し、いの町柳野地区のそばを中心とした6次産業化に向けた取り組みへの支援をしています。

1月6日と24日、「ふれあいの里柳野」にて、チーム会を開催し、そばと柳野を売り出すためのロゴデザインやマップについて検討しました。チーム員は、柳野らしさを感じさせるデザインやマップに掲載するための地域の写真や情報について熱心に意見交換し、2月の新そばまつりに向けての検討も行いました。

農業改良普及課は、引き続き、柳野地区の6次産業化による地域の活性化に向け支援していきます。